

発行所
真宗大谷派 光善寺
発行人 太田高顕
茨木市島2丁目3-16
電話 072(632)7107

<http://www.eonet.ne.jp/~kouzenzi>

いぶき

2020年3月1日発行

永代経
蓮師会

どうぞお参り
ください

れんしえ えいたいきょう
蓮師会・永代経

三月二十二日に

光善寺では、来る三月二十二日（日）に蓮師会（蓮如上人祥月法要）ならびに、永代経を法話講師に秦成淳氏を迎え、お勤めいたします。亡き人を偲び、お念仏のみ教えに耳を傾けていただくよう念じています。

永代経に寄せて

私につながるいのち

ほとんどの寺院で、勤められるおなじみの行事が永代経です。永代経にお参りをするには、大事な意味があるのです。まず、生み育ててくださった親・先祖のご苦勞を偲び、その御恩に報いること。そして、みずからお寺に参り、お経（仏の教え）や法話を聞かせてもらうのです。生まれがた

き人間に生まれさせてもらったいのちの尊さを見直すことが願われていのです。

いのちの尊さに目覚めて

いのちが大切なことは、あらためて言う必要もないことです。ただ仏教で問題にしているいのちは、生きているか、死んでいるかという生命ではないのです。それは、私たちにかけられているたましい（魂）ともいえるものです。

仏さまあみだによらい阿弥陀如来は、無量寿むりょうじゆといわれ、いつでもどこでもどなたにも、平等にはたらいているのです。私のいのちも他のいのちも同じ尊さであります。ただ、別々の役割を担っていくのです。このように、どなたのいのちも同じ重さ、尊さであると気づかされてはじめて人間の心を保てるのでしよう。「経は教なり、また鏡のごとし」といわれます。つねに教えを聞いて、自らの生き方を見なおすことが大切であります。

六道小路

▽コロナウイルスの感染は、あつと
いう間に世界中に広がり、おさまる
気配が見えない。感染ルートの解明
も大事だが、児童、高齢者をはじめ、
市民が平常の生活に戻れることが
なにより急がれる。

▽感染症の怖さは、昔も変わらない。
幕末から明治には、各地でコレラが
大流行、年間数万人の患者が出た。
江戸時代の関所が機能していた頃
には、人々の移動が制限され、感染
病流行をかなり抑えられたという。
▽科学技術、医学の進化はめざまし
い今日だが、親鸞聖人は、自然じねんとい
う言葉を大事にされた。あらゆる事
象は、自然の法則によって成立つ。
この道理にさからうなら、かならず
破綻をもたらすことになる。
人間優先、経済優先の行き方をあら
ため、本来の自然なあり方に立ち帰
って、自他ともに謙虚に行動すべき
ときではないだろうか。